

鳥取県立鳥取東高等学校『CAN-DO リスト』の形で学習到達目標										2025/04/03 改訂
学年	時期	Reading		Listening		Writing		Speaking		
		到達目標	活動内容	到達目標	活動内容	到達目標	活動内容	到達目標	活動内容	
3 年	後期	①比較的長く、ある程度複雑な、様々なトピック・ジャンルの英文（物語・説明文・評論・馴染みや関心のある記事）を、辞書等を使わずに読み、 ア) 大まかに内容を理解することができる。 ✧ 段落ごとの要旨の理解 ✧ 話や論の展開の理解 イ) 必要な詳細を理解することができる。 ロ) 自分の意見や考えを持つことができる。 ②ある程度複雑な初見の英文を、110WPM で読むことができる。	英問英答 キーワード キセンテンス T / F フローチャート 要約 初見速読	①140WPM で話される、説明・講義・会話などを聴き、 ア) 話し手の立場、会話の状況、要点、要旨、話の流れを理解することができる。 イ) 重要な点や必要な詳細情報を理解することができる。 ②教員や ALT が話すことをほぼ理解することができる。	英問英答 ディクテーション シャドウイング	① 1 ～ 2 段落の初見の英文であっても、それを読み、 ア) 要旨を書くことができる。 イ) それに対する感想や自分の意見を複数の文から成るまとまりのある英文で書くことができる。 ②賛否両論のある社会問題について、 ア) 多角的に分析し、理由を明示した論展開ができる。 イ) Intro, Body, Conclusion を含む、3 ～ 5 パラグラフから成る文章を書くことができる。 ③与えられた資料や図表が示すものを英語で表現することができる。また、それに対する自分の意見を英語で書くことができる。	要旨要約 パラグラフライティング グラフ描写	<やりとり> ①賛否両論のある社会的な話題について、理由を明確にし例などを挙げながら、2 分程度自分の意見を話すことができる。 ②賛否両論のある社会的な話題について、5 分程度の意見交換をすることができる。 ③ある程度複雑な英文を読んだ後で、自分の感想や意見を 1 分程度話したり、相手の感想や意見に相槌をうったり聞き返したりすることができる。 <発表> ①グラフ等をみて、状況と意見・推測を分けながら 1 分程度の英語で説明することができる。 ②ある程度複雑な英語を読んだ後で、初見であっても、英語で要旨を言うことができる。	ディスカッション インタビュー 感想・意見 グラフ描写 要旨	
	前期	①比較的長く、ある程度複雑な英文（教科書英文・物語・説明文・評論・新聞雑誌記事）を、辞書などをほぼ使わずに読み、 ア) 大まかに内容を理解することができる。 ✧ 段落ごとの要旨の理解 ✧ 話や論の展開の理解 イ) 必要な詳細を理解することができる。 ロ) 自分の意見や考えを持つことができる。 ②ある程度複雑な初見の英文を、100WPM で読むことができる。	英問英答 キーワード キセンテンス T / F フローチャート 要約 初見速読	①140WPM で話される、説明・講義・会話などを聴き、 ア) 話し手の立場、会話の状況、要点、要旨、話の流れを理解することができる。 イ) 重要な点や必要な詳細情報を理解することができる。 ②教員や ALT が話すことをほぼ理解することができる。	英問英答 ディクテーション シャドウイング	①英コ教科書等で読んだ内容を、 ア) キーワードやフローチャートを見れば要旨を書くことができる。 イ) それに対する感想や自分の意見を複数の文から成るまとまりのある英文で書くことができる。 ②賛否両論のある社会問題について、 ア) 多角的に分析し、理由を明示した論展開ができる イ) Intro, Body, Conclusion を含む、3 ～ 5 パラグラフから成る文章を書くことができる。 ③与えられた資料や図表が示すものを英語で表現することができる。また、それに対する自分の意見を英語で書くことができる。	要旨要約 パラグラフライティング グラフ描写	<やりとり> ①賛否両論のある社会的な話題について、理由を明確にし例などを挙げながら、2 分程度自分の意見を話すことができる。 ②賛否両論のある社会的な話題について、5 分程度の意見交換をすることができる。 ③ある程度複雑な英文を読んだ後で、自分の感想や意見を 1 分程度話したり、相手の感想や意見に相槌をうったり聞き返したりすることができる。 <発表> ①グラフ等をみて、状況と意見・推測を分けながら 1 分程度の英語で説明することができる。 ②ある程度複雑な英語を読んだ後で、英語で要旨を言うことができる。	ディスカッション 即興ディベート インタビュー 感想・意見 グラフ描写 要旨	
2 年	後期	①ある程度複雑なまとまりのある英文（教科書英文・説明文・評論・物語・伝記・記事）を、辞書等を使いつながら読み、 ア) 大まかに内容を理解することができる。 ✧ 各段落のキーセンテンスやキーワードの特定 ✧ フローチャートや要約の作成 イ) 詳細な情報を理解することができる。 ロ) 感想や意見を持つことができる。 ②馴染みのないトピックであっても初見の英文を、90WPM で読むことができる。	英問英答 キーワード キセンテンス T / F フローチャート 要約完成 語い（システム英単語） 初見速読	①130WPM で話される、説明・会話などを聴き、 ア) 話し手の立場、会話の状況、要点、要旨、話の流れを理解することができる。 イ) 重要な点や必要な詳細情報を理解することができる。 ②ポーズや発音に配慮して話されれば、教員や ALT が話すことをほぼ理解することができる。	英問英答 ディクテーション シャドウイング ディクトグラム	①英コ教科書等で読んだ内容を、 ア) キーワードやフローチャートを見れば再生することができる。 イ) それに対する感想や自分の意見を複数の文から成るまとまりのある英文で書くことができる。 ②賛否両論のある身近な社会問題について、 ア) ブレインストーミング等によって多角的に分析した後なら、理由を明示した論展開ができる。 イ) Intro, Body, Conclusion を含む、3 ～ 5 パラグラフから成る文章を書くことができる。 ④複文を意識しながら、文意を損ねない文を書くことができる。	リポートアクション 感想・意見 ブレインストーミング等 エッセイライティング ライティング	<やりとり> ①賛否両論のある身近な話題について、準備をした後なら、2 分程度自分の意見を話すことができる。 ②賛否両論のある身近な話題について、準備をした後なら、3 分程度意見交換をすることができる。 ③ある程度複雑な英語（教科書等）を読んだ後で、自分の感想や意見を 1 分程度話したり、相手の感想や意見に相槌をうったり聞き返したりすることができる。 <発表> ①グラフ等をみて、状況と意見・推測を分けながら 1 分程度の英語で説明することができる。 ②ある程度複雑な英語（英コⅡ教科書等）を読んだ後で、キーワード等を見ながら内容をリテリングすることができる。	ディベート インタビュー 意見・感想 グラフ描写 リテリング要約	
	前期	①まとまりのある英文（教科書英文・説明文・物語・伝記）を、辞書を使いながら読み、 ア) 大まかに内容を理解することができる。 ✧ 各段落のキーセンテンスやキーワードの特定 ✧ フローチャートや要約などの完成 イ) 詳細な情報を理解することができる。 ロ) 感想や意見を持つことができる。 ②馴染みのあるトピックの初見の英文を、80WPM で読むことができる。 ③既習の英文を、相手にわかりやすく音読できる。	英問英答 キーワード キセンテンス T / F フローチャート 要約完成 語い（システム英単語） 初見速読 音読	①120WPM で話される、会話や説明などを聴き、 ア) 話し手の立場、会話の状況、要点、要旨、話の流れを理解することができる。 イ) 重要な点や必要な詳細情報を理解することができる。 ②ポーズや発音に配慮して話されれば、教員や ALT が話すことをほぼ理解することができる。	英問英答 ディクテーション シャドウイング ディクトグラム	①英コ教科書等で読んだ内容を、 ア) キーワードやフローチャートを見れば再生することができる。 イ) それに対する感想や自分の意見を複数の文から成るまとまりのある英文で書くことができる。 ②賛否両論のある身近な社会問題について、トピックセンテンスと、具体例や根拠を含めたサポートセンテンスから成る、一貫した説得力の強いパラグラフを書くことができる。 ④文意を損ねない文を書くことができる。 ⑤自分の興味のある簡単なトピックに対して、10 分で80語書くことができる。	リポートアクション 感想文 ブレインストーミング等 エッセイライティング ライティング 10 分間ライティング	<やりとり> ①賛否両論のある身近な話題について、ブレインストーミング等の後なら 1 分程度自分の意見を話すことができる。 ②賛否両論のある身近な話題について、ブレインストーミングの後なら、5 分程度のミニディベートをすることができる。 ③ある程度複雑な英語（英コⅡ教科書等）を読んだ後で、自分の感想や意見を 1 分程度話したり、相手の感想や意見に相槌をうったり聞き返したりすることができる。 <発表> ①写真やグラフ等をみて、状況と意見・推測を 1 分程度の英語で説明することができる。 ②ある程度複雑な英語（英コⅡ教科書等）を読んだ後で、キーワード等を見ながら内容をリテリングすることができる。 ③語の発音やつながりを意識して、英語らしい発音で話すことができる。	ブレインストーミング ミニディベート インタビュー 意見・感想 英問英答 写真・場面描写 グラフ描写 リテリング	
1 年	後期	①まとまりのある英文（教科書英文・説明文・物語・伝記）を、辞書を使いながら読み、 ア) 大まかに内容を理解することができる。 ✧ 各段落のキーセンテンスやキーワードの特定 ✧ フローチャートや要約などの完成 イ) 詳細な情報を理解することができる。 ✧ 複文などの文構造（S+V）の特定 ロ) 感想や意見を持つことができる。 ②簡単に馴染みのあるトピックの初見の英文を、70WPM で読むことができる。 ③既習の英文を、相手にわかりやすく音読できる。	英問英答 キーワード キセンテンス T / F フローチャート 要約完成 語い（システム英単語） 初見速読 音読	①120WPM で話される会話や説明を聴き、馴染みのある話題であれば、 ア) 話し手の立場、会話の状況、要点、要旨、話の流れを理解することができる。 イ) 重要な情報を理解することができる。 ②ポーズや発音に配慮してゆっくり話されれば、教員や ALT が話すことをほぼ理解することができる。	英問英答 ディクテーション シャドウイング ディクトグラム	①英コ教科書等で読んだ内容を、 ア) キーワードやフローチャートを見れば再生することができる。 イ) それに対する感想や自分の意見を 5 文程度の英文で書くことができる。 ②身近な話題について、簡単な理由を示しながら、トピックセンテンス 1 文とサポートセンテンス 5 文程度のパラグラフを書くことができる。 ③簡単な表や写真を見て、その状況を書くことができる。 ④S V の構造を意識し、文意を損ねない文を書くことができる。	リポートアクション 感想文 パラグラフライティング 写真描写 ライティング	<やりとり> ①自分の興味のある簡単なトピックに対して、1 分間に 50 語程度即興で話すことができる。 ②身近な話題について、3 分程度意見交換をすることができる。 ③簡単な英語（英コⅠ教科書等）を読んだ後で、自分の感想や意見を 1 分程度話したり、相手の感想や意見に相槌をうったり聞き返したりすることができる。 <発表> ①写真や場面の状況を 1 分程度の英語で説明することができる。 ②簡単な英語（英コⅠ教科書等）を読んだ後で、キーワード等を見ながら内容をリテリングすることができる。 ③イントネーション、リズム、語のつながりなどを意識して、英語らしい発音で話すことができる。	即興 1 分間スピーチ ミニディベート インタビュー 意見・感想 英問英答 写真・場面描写 リテリング 発音チェック	
	前期	①簡単な英語で書かれたまとまりのある英文（教科書英文・説明文・物語・伝記）を、辞書を使いながら読み、 ア) 大まかに内容を理解することができる。 ✧ 各段落のトピックの特定 ✧ フローチャートや要約などの完成 イ) 詳細な情報を理解することができる。 ✧ 文構造（S+V）の特定 ロ) 感想や意見を持つことができる。 ②簡単に馴染みのあるトピックの初見の英文を、60WPM で読むことができる。 ③既習の英文を、相手にわかりやすく音読できる。	英問英答 段落タイトル フローチャート 要約完成 下線部訳語い（システム英単語） 初見速読 音読	①100WPM で話される会話や説明を聴き、馴染みのある話題であれば、 ア) 話し手の立場、会話の状況、要点、要旨、話の流れを理解することができる。 イ) 重要な情報を理解することができる。 ②ポーズや発音に配慮してゆっくり話されれば、教員や ALT が話すことをほぼ理解することができる。	英問英答 ディクテーション シャドウイング ディクトグラム	①英コ教科書等で読んだ内容を、 ア) キーワードやフローチャートを見れば再生することができる。 イ) それに対する感想や自分の意見を 3 文程度の英文で書くことができる。 ②身近な話題について、3 文程度書くことができる。 ④S V の構造を意識し、文意を損ねない文を書くことができる。 ⑤自分の興味のある簡単なトピックに対して、10 分で50語書くことができる。	リポートアクション 感想文 ライティング 10 分間ライティング	<やりとり> ①日常での簡単な会話を、適切な応答をしながら、2 分程度することができる。 ②簡単な英語（英コⅠ教科書等）を読んだ後で、英語での質問に英語で答えることができる。 ③簡単な英語（英コⅠ教科書等）を読んだ後で、自分の感想や意見を 1 分程度話したり、相手の感想や意見に相槌をうったり聞き返したりすることができる。 <発表> ①自分の興味関心のあることについて、準備した原稿やメモを基に、2 分間程度のスピーチやプレゼンテーションをすることができる。 ②自分の興味がある簡単なトピックに対して、1 分間に 30 語程度即興で話すことができる。 ③イントネーション、リズム、間違えやすい母音子音を意識して、英語らしい発音で話すことができる。	場面別会話 英問英答 意見・感想 プレゼン Show & Tell 即興 1 分間スピーチ 発音チェック	

***Reading 活動内容の語いについて：本校使用している英単語集「システム英単語」で表記。**